

日時:2015 年 10 月 05 日(月) 14:00 ~ 17:00

場所:機械振興会館地下 3 階 研修 1 号室

定足数の確認:

委員44 名(うち代理2 名, 委任18 名), その他7 名. 出席者の一覧は末尾参照.

委員総数(61名)の1/3 の定足数を満たしていることを確認した.

福田規格役員が議長として指名された.

議題:

Agenda の承認

用語 JIS の 5 年見直しについての議題が追加され, 承認された. Agenda1.1 版以降に追加された*印の審議案件を本会議で審議することについて反対はなかった. Agenda の資料番号の前に◆印がついている審議案件は, 技術委員会の前に 1 週間メール審議されたものである. メール審議で承認された案件については内容の紹介が行われた. 都合により一部順番を変更して審議・報告が行われた.

1. 議事録等確認:

1.1 第 230 回技術委員会(2015-09-07)議事録(案) (資料 1)
承認された.

1.2 第 324 回規格役員会(2015-09-14)報告事項 (資料 2)
了承された.

2. SC 専門委員会の活動紹介

2.1 SC25 専門委員会の活動紹介 (資料 3)

SC25 の活動紹介が行われた.

WG1 では日本から提案したエコーネットライト規格がこのほど IS 化された(ISO/IEC 14543-4-3). WG3 では, ISO/IEC 11801(Generic cabling systems for customer premises)の改訂を行っている. WG4 では, 世界的に広く使われるような重要な案件を多く扱っているが, 国際会議への参加は低調. これは, 米国 INCITS において多国籍企業が参加して国際的な仕様調整が済んだものが SC25 に提案されてくるため. しかし, WG4 関連の NP 提案で参加国数が足りずに否決される事例が出ている. 国内委員会では参加委員数が減少傾向にある. 若手の参加を呼び掛けているところ. (宮島 SC25 専門委員会委員長)

3.JTC1/SWG&WG 関係審議

3.1 JTC1/WG10 JTC1N12651 (投票期限: 2015-10-14) (資料 4)

[NP] Information technology -- Internet of Things -- Definition and Vocabulary

「情報技術 - インターネット・オブ・シングス - 定義と用語」

回答案: Q1a:Approve/New project, Q1b:No, Q2:No, Q3:No, Q4:Yes

原案どおり承認された. (河合 JTC1/WG10 小委員会主査)

3.2 JTC1/WG10 JTC1N12656 (投票期限: 2015-10-14) (資料 5)

Information technology -- Object Identifier assignments for the Internet of Things

「情報技術 - インターネット・オブ・シングスのための OID の割当て」

回答案: Q1a:Disapprove/No, Q1b:No, Q2:No, Q3:No, Q4:No

原案どおり承認された. SC6 の NP 案件の JTC1 レベルでの投票. 現時点での規格開発は時期尚早. (河合 JTC1/WG10 小委員会主査)

3.3 SWG-D JTC1N12717 (投票期限: 2015-11-11) (資料 6 欠番)

Draft Text of JTC 1 Standing Document 11 (SD 11), Progression of JTC 1 Projects

メール審議となった.

(資料 7 欠番)

4.SC2 関係審議

4.1 SC2 DIS14651 (投票期限: 2015-10-20) (資料 8)

Information technology -- International string ordering and comparison -- Method for comparing character strings and description of the common template tailorable ordering

「情報技術 - 国際的な文字列の順序付け及び比較 - 文字列の比較方法及び共通テンプレートによって調整可能な順序付けの記述」

回答案: コメント付賛成

事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(織田 SC2 専門委員会委員長)

5.SC6 関係審議

- 5.1 SC6/WG1 FDIS8802-A (投票期限: 2015-11-01) (資料 9)

Information technology -- Telecommunications and information exchange between systems -- Local and metropolitan area networks -- Specific requirements -- Part A

「情報技術 - ローカル及びメトロポリタンエリアネットワーク - 第 A 部: 個別要件」

回答案: 賛成

原案どおり承認された。(事務局代読)

- 5.2 SC6/WG1 FDIS15149-3 (投票期限: 2015-11-16)

Information technology -- Telecommunications and information exchange between systems -- Magnetic field area network (MFAN) -- Part 3: Relay Protocol for Extended Range

メール審議となった。

- 5.3 SC6/WG1 FDIS15149-4 (投票期限: 2015-11-16)

Information technology -- Telecommunications and information exchange between systems -- Magnetic field area network (MFAN) -- Part 4: Security Protocol for Authentication

メール審議となった。

- 5.4 SC6/WG7 DIS16512-1 (投票期限: 2015-11-11) (資料 10)

Information technology -- Relayed Multicast Control Protocol (RMCP) -- Framework (Rec. ITU-T X.603 (03/2012))

「情報技術 - リレー式マルチキャスト制御プロトコル - 第 1 部: 枠組み」

回答案: 棄権

原案どおり承認された。(事務局代読)

- 5.5 SC6/WG7 DIS16512-2 (投票期限: 2015-11-11) (資料 11)

Information technology -- Relayed multicast protocol: Specification for simplex group applications (Rec. ITU-T X.603.1 (08/2012))

「情報技術 - リレー式マルチキャストプロトコル - 第 2 部: 単一グループアプリケーション」

回答案: 棄権

原案どおり承認された。(事務局代読)

6.SC7 関係審議

- 6.1 SC7/WG4 FDIS26550 (投票期限: 2015-10-17) (資料 12 欠番)

Software and systems engineering -- Reference model for product line engineering and management

メール審議となった。

- 6.2 SC7/WG4 FDIS26551 (投票期限: 2015-11-02) (資料 13 欠番)

Software and systems engineering -- Tools and methods for product line requirements engineering

メール審議となった。

- 6.3 SC7/WG4 FDIS26555 (投票期限: 2015-10-17) (資料 14 欠番)

Software and systems engineering -- Tools and methods for product line technical management

メール審議となった。

- 6.4 SC7/WG7 FDIS15026-3 (投票期限: 2015-10-18) (資料 15)

Systems and software engineering -- Systems and software assurance -- Part 3: System integrity levels

「システムおよびソフトウェア技術 - システムおよびソフトウェア保証 - 第 3 部: インテグリティレベル(完全性水準)」

回答案: 賛成

事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(谷津 SC7 専門委員会委員長)

- 6.5 SC7/WG4 DIS26557 (投票期限: 2015-11-10) (資料 16 欠番)

Software and systems engineering -- methods and tools for variability mechanisms in software and systems product line

メール審議となった。

- 6.6 SC7/WG4 SC7N6649 (投票期限: 2015-11-14) (資料 17 欠番)
Software and systems engineering -- methods and tools for variability modelling in software and systems product line
メール審議となった。
- 6.7 SC7/WG4 SC7N6651 (投票期限: 2015-11-14) (資料 18 欠番)
Software and systems engineering -- methods and tools for variability traceability in software and systems product line
メール審議となった。
- 6.8 SC7/WG20 SC7N6642 (投票期限: 2015-11-07) (資料 19)
[NP] Software and Systems Engineering -- Certification of Software and Systems Engineering Professionals -- Part 1:
General Requirements
「システム及びソフトウェア技術 - ソフトウェア及びシステム技術者認証 - 第 1 部: 一般要求」
回答案: Q1a: Approve/WD, Q1b: Yes, Q2: No, Q3: Yes, Q4: Yes
原案どおり承認された。(谷津 SC7 専門委員会委員長)

7.SC17 関係審議

- 7.1 SC17 FDIS25185-1 (投票期限: 2015-10-12) (資料 20)
Identification cards -- Integrated circuit card authentication protocols -- Part 1: Protocol for Lightweight Authentication of Identity
「識別カード - IC カード認証プロトコル - 第 1 部: 識別のための軽量認証プロトコル」
回答案: 反対
原案どおり承認された。オーストラリアからの Fast-track 案件。2nd DIS 後の SC27 への協力要請についての対応が不明確である。プロトコルの脆弱性が指摘されているので技術的に課題があり、国際標準としてふさわしくない。(坂本 SC17 国内委員会委員)
- 7.2 SC17/WG10 18013-3/DAM3 (投票期限: 2015-11-17) (資料 21)
Information technology -- Personal identification -- ISO compliant driving licence -- Part 3: Access control, authentication and integrity validation AMENDMENT 3: PACE
「情報技術 - 個人識別 - ISO 準拠運転免許証 - 第 3 部: アクセス制御、認証と完全性確認改訂 3 PACE」
回答案: 賛成
事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(榊 SC17 国内委員会委員)

8.SC22 関係報告

- 8.1 SC22 総会報告 2015-09-14/15 Washington D.C., US (資料 22)
参加数: 8 カ国 / 20 名
特記事項:
- WG4 Convenor である高木氏(日立)の任期を 3 年間延長することが決議された。
- Linux の標準化を継続するか否かについて、意見が分かれて紛糾したため、仮の決議案を用意して letter ballot にかけることとなった。
- WebEx によるリモート参加が複数名いたが、SC22 は WebEx による総会参加を認めた最初の SC であり、ノウハウの蓄積があるため、運営はかなりスムーズになっている。
次回開催予定: 2016-09, ウィーン(オーストリア) (高木 SC 22 専門委員会委員長代理)

9.SC24 関係審議

- 9.1 SC24/WG8 DIS18041-4 (投票期限: 2015-11-13) (資料 23 欠番)
Information technology -- Computer graphics, image processing and environmental data representation -- Environmental Data Coding Specification (EDCS) language bindings -- Part 4: C
メール審議となった。

10.SC25 関係審議

- 10.1 SC25/WG4 SC25N2444 (投票期限: 2015-10-29) (資料 24)
[NP] INFORMATION TECHNOLOGY -- FIBRE CHANNEL -- SECURITY PROTOCOLS-2 (FC-SP-2), 14165-432
「情報技術 - ファイバチャネル 第 432 部 - セキュリティプロトコル 2 (FC-SP-2)」
回答案: Q1a: Approve/New project, Q1b: Yes, Q2: No, Q3: No, Q4: Yes
Q1a の添付原案のステージを New project から CD に変更し、承認された。(宮島 SC25 専門委員会委員長)
- 10.2 SC25 総会報告 2015-09-11 Milan, Italy (資料 25)

参加数：16 カ国／37 名

特記事項：

- 前セクレタリの Walter von Pattay 氏の急逝を偲び、会議冒頭に黙とうした。
 - 昨年の JTC1 アブダビ総会に SC25 から提案した、WG4 の NP 承認基準緩和提案(エキスパートの指名数を 5 人から 3 人へ)は否決されたことが報告された。
 - 新議長として Rainer Schmidt 氏(ドイツ)が指名された。
- 次回開催予定: 2016-09-23, 未定 (宮島 SC25 専門委員会委員長)

11.SC27 関係審議

- 11.1 SC27/WG1 DIS27009 (投票期限: 2015-10-27) (資料 26)
Information technology -- Security techniques -- Sector-specific application of ISO/IEC 27001 - Requirements
「情報技術 - セキュリティ技術 - ISO/IEC 27001 の分野別適用 - 要求事項」
回答案: 条件付反対
原案どおり承認された。(山下 SC27/WG1 小委員会幹事)
- 11.2 SC27/WG2 DIS14888-3 (投票期限: 2015-10-27) (資料 27)
Information technology -- Security techniques -- Digital signatures with appendix -- Part 3: Discrete logarithm based mechanisms
「情報技術 - セキュリティ技術 - 添付型デジタル署名- 第 3 部: 離散対数に基づく機構」
回答案: コメント付賛成
事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(渡邊 SC27 専門委員会委員長)
- 11.3 SC27/WG2 DIS15946-1 (投票期限: 2015-10-28) (資料 28)
Information technology -- Security techniques -- Cryptographic techniques based on elliptic curves -- Part 1: General
「情報技術 - セキュリティ技術 - 楕円曲線を用いた暗号技術 - 第 1 部: 総論」
回答案: 条件付反対
原案どおり承認された。(渡邊 SC27 専門委員会委員長)
- 11.4 SC27/WG2 DIS29192-5 (投票期限: 2015-10-27) (資料 29)
Information technology -- Security techniques -- Lightweight cryptography -- Part 5: Hash-functions
「情報技術-セキュリティ技術-軽量暗号-第 5 部: ハッシュ関数」
回答案: コメント付賛成
事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(渡邊 SC27 専門委員会委員長)
- 11.5 SC27/WG4 DIS27034-6 (投票期限: 2015-10-27) (資料 30)
Information technology -- Security techniques -- Application security -- Part 6: Case studies
「情報技術 - セキュリティ技術 - アプリケーションセキュリティ - 第 6 部: 特定アプリケーションへのセキュリティガイドダンス」
回答案: 反対
原案どおり承認された。(渡邊 SC27 専門委員会委員長)
- 11.6 SC27/WG4 DIS27035-1 (投票期限: 2015-10-27) (資料 31)
Information technology -- Security techniques -- Information security incident management -- Part 1: Principles of incident management
「情報技術 - セキュリティ技術 - 情報セキュリティインシデント管理 - 第 1 部: インシデント管理の原則」
回答案: コメント付賛成
原案どおり承認された。(渡邊 SC27 専門委員会委員長)
- 11.7 SC27/WG4 DIS27035-2 (投票期限: 2015-10-27) (資料 32)
Information technology -- Security techniques -- Information security incident management -- Part 2: Guidelines to plan and prepare for incident response
「情報技術 - セキュリティ技術 - 情報セキュリティインシデント管理 - 第 2 部: インシデント対応の計画と準備のためのガイドライン」
回答案: コメント付賛成
事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(渡邊 SC27 専門委員会委員長)
- 11.8 SC27/WG5 DIS24760-3 (投票期限: 2015-10-28) (資料 33)
Information technology -- Security techniques -- A framework for identity management -- Part 3: Practice
「情報技術 - セキュリティ技術 - Identity 管理フレームワーク - 第 3 部: 実践」
回答案: 条件付反対

原案どおり承認された。(崎村 SC27/WG 5 小委員会主査)

11.9 SC27/WG5 DIS29146 (投票期限: 2015-10-27) (資料 34)

Information technology -- Security techniques -- A framework for access management

「情報技術 - セキュリティ技術 - アクセス管理についてのフレームワーク」

回答案: コメント付賛成

原案どおり承認された。(崎村 SC27/WG5 小委員会主査)

11.10 SC27 JTC1N12704 (コメント期限: 2015-10-19) (資料 35)

Proposed Modifications to JTC 1/SC 27 Programme of Work

回答案: 賛成(コメントしない)

事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(渡邊 SC27 専門委員会委員長)

12.SC29 関係審議

12.1 SC29/WG11 14496-4/FDAM43 (投票期限: 2015-10-17) (資料 36)

Information technology -- Coding of audio-visual objects -- Part 4: Conformance testing, AMENDMENT 43: 3D-AVC conformance testing

「情報技術 - 音響映像オブジェクトの符号化 - 第4部: 適合性試験 - 追補43: AVC の3次元映像符号化拡張のための適合性試験」

回答案: 賛成

事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(高村 SC29 専門委員会委員長)

12.2 SC29/WG11 14496-5/FDAM36 (投票期限: 2015-10-11) (資料 37)

Information technology -- Coding of audio-visual objects -- Part 5: Reference software, AMENDMENT 36: Pattern-based 3D mesh coding reference software

「情報技術 - オーディオビジュアルオブジェクトの符号化 - 第5部: 参照ソフトウェア - 追補36: パターン指向3Dメッシュ符号化の参照ソフトウェア」

回答案: 賛成

事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(高村 SC29 専門委員会委員長)

12.3 SC29/WG11 14496-5/FDAM37 (投票期限: 2015-10-17) (資料 38)

Information technology -- Coding of audio-visual objects -- Part 5: Reference software -- Amendment 37: New Levels for the AAC Profiles, uniDRC support, AAC block length parameter corrections

「情報技術 - 音響映像符号化 - 第5部: リファレンスソフトウェア - 追補37: AACプロファイルのための新しいレベル、uniDRC サポート、AACブロック長パラメタの修正」

回答案: 賛成

原案どおり承認された。(高村 SC29 専門委員会委員長)

12.4 SC29/WG11 FDIS23001-12 (投票期限: 2015-11-04) (資料 39)

Information technology -- MPEG systems technologies -- Part 12: Sample Variants in the ISO Base Media File Format

「情報技術 - MPEG システム技術 - 第12部: ISO 基本ファイル形式におけるサンプル異形」

回答案: 賛成

事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(高村 SC29 専門委員会委員長)

12.5 SC29/WG11 14496-27FDAM6 (投票期限: 2015-11-16)

Information technology -- Coding of audio-visual objects -- Part 27: 3D Graphics conformance, AMENDMENT 6:

Pattern-based 3D mesh coding conformance

メール審議となった。

12.6 SC29/WG11 23001-4/DAM1 (投票期限: 2015-10-09) (資料 40)

Information technology -- MPEG systems technologies -- Part 4: Codec configuration representation, AMENDMENT 1:

Parser Instantiation from BSD

「情報技術 - MPEG システム技術 - 第4部: コーデック構成表現 - 追補1: BSD からのパーサーのインスタンス化」

回答案: 賛成

事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(高村 SC29 専門委員会委員長)

13.SC31 関係審議

13.1 SC31/WG4 DIS18000-4 (投票期限: 2015-11-11) (資料 41)

Information technology -- Radio frequency identification for item management -- Part 4: Parameters for air interface communications at 2.45 GHz

「情報技術 - 物品管理用 RFID - 第 4 部: 2.45GHz におけるエアインタフェース通信用パラメータ」

回答案:棄権

本提案については、国際コンテナとしてはすでに ISO/IEC 18000-7 (433MHz)が規格化されており、新たな異なる周波数での規格追加の必要がないことから NP で反対し、以降は棄権としてきたが、専門委員会で技術的に再度確認し、問題があった場合には『反対』とすることとし、改めて技術委員会のメール審議をすることとなった。(河合 SC31 専門委員会委員長)

14.SC35 関係審議

14.1 SC35 総会報告 2015-08-31, 09-04 札幌, 日本 (資料 42)

参加数: 10 カ国/37 名 (+WebEx 5 名)

特記事項:

- 日本がエディタを務めている案件のうち 2 件について、昨年 10 月に FDIS をスキップして IS 発行に進むことが決議されているが、約 1 年経っても IS が発行されていないため、SC35 幹事が対処することが決議された。
- 日本がエディタを務めている案件のうち 2 件について、今年 5 月に DIS 投票に進むことが決定しているが進展がない。SC35 幹事が投票の進捗を確認し、問題があれば担当 WG に報告することが決議された。
- ISO/IEC 20071-23 として割り当てられる予定のプロジェクトについて、日本が NP 提案することを歓迎することが決議された。

次回開催予定: 2016-02-15/19, ローマ (イタリア) (関 SC35 専門委員会委員長)

14.2 日本からの NP 提案 (資料 43)

ISO/IEC 20071-23: Information Technology -- User interface component accessibility -- Part 23: Guidance on the visual presentation of audio information (including captions and subtitles)

原案どおり承認された。聴覚障がい者用の字幕のガイダンス規格。(関 SC35 専門委員会委員長)

15.SC37 関係審議

15.1 SC37/WG3 FDIS29794-1 (投票期限: 2015-11-16)

Information technology -- Biometric sample quality -- Part 1: Framework
メール審議となった。

16.SC40 関係審議

16.1 SC40/WG3 DIS30105-1 (投票期限: 2015-10-09) (資料 44)

Information technology -- IT Enabled Services/Business Process Outsourcing (ITESBPO) Lifecycle Processes -- Part 1: Process Reference Model (PRM)

「情報技術 - IT を使ったビジネスプロセスアウトソーシング - 第 1 部: プロセスリファレンスモデル」

回答案: コメント付賛成

事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。(平野 SC40 専門委員会委員長)

17. JTC1 総会対応

2015 年 10 月 26 日から開催される、JTC 1 北京総会の対処方針について規格役員会 Ad hoc での合意事項の説明がなされた。主な日本の対応案は次の通り。

- SG on Smart Cities: 昨年の総会では SWG 設立の提案が否決されているが、今年は WG 新設の提案が出ている。日本としては、IEC での活動が主体と認識しており、JTC1 で開発する必要性は無いので、設立に反対。
- JTC1/WG10 on IoT の SC 化: IoT に関わるジェネリックな標準を開発するというが、内容は不明確。日本としては、Systems Integration の議論に沿ったアクションが必要という認識。現時点での SC 設立には反対。
- JTC 1/Advisory Group: 3 つの SWG (Directives, Management, Planning) を統合した組織の提案。日本としては賛成。(伊藤委員長)

18. 報告事項等

18.1 メール審議の結果報告 (資料 45)

18.2 投票結果報告 (資料 46)

18.3 2015 年 11 月以降審議予定の JTC1 関連の投票案件/コメント案件 (資料 47)

事務局が 18.1-18.3 の資料を提出した。

19. 用語 JIS の 5 年見直しの対応について

用語 JIS の一部が現在 5 年見直しにかかっており、該当 SC にそれぞれ回答案の提出が求められている。一方、対応国際規格である 2382 パート XX は、各パートが統合された版である ISO/IEC 2382: 2015 に置き換えられている。このことから、用語 JIS につい

ては各 SC に回答を委ねず、すべて同じ回答に統一するのが適当ではないかとのコメントが提出されている。

直接紐付いていた国際規格の各パートが廃止という形になり、今回各 SC から届いた用語 JIS の回答の多くは「廃止」であることから、今後用語 JIS の 5 年見直しの回答はすべて「廃止」にしてはどうかとの提案に対して、委員からは、次のようなコメントがあった。

- IPA が行っている情報処理技術者試験(国家試験)での用語の拠り所となっているので、単純にすべての用語 JIS を廃止にするのは難しいのではないか。
 - 用語 JIS が無くても、各 JIS の用語の部分に載っていれば良いのではないか。
- 「どうあるべきか」の理想像は、ISO/IEC 2382:2015 の発行を受けて、全体を精査して用語 JIS を作り直すこと、しかし労力がかかり現実的ではないのではないか。
- ISO/IEC 2382:2015 は、かなり古いパートからわりと最近のパートまでを含んでおり、内容は玉石混淆である。

議論は、今後の用語 JIS のあり方にも及んだが、ここでは用語 JIS の 5 年見直しの回答方針をどうするかということに焦点を絞り、次の 2 つの対応をとることとした。

- 1) 用語 JIS の 5 年見直し対応については、統一見解を出すことはせず、これまで通り各 SC からの回答を元に進める。
- 2) 事務局から JSA に回答を提出する際に、「利害関係者として IPA にもヒアリングしてほしい」とのコメントを付ける。

また、今後の用語 JIS のあり方、扱いについては、一度 JISC、JSA、ITSCJ の 3 者で相談の場を持つことを検討することとした。
(伊藤委員長)

委員名簿（敬称略）：

委員：

	氏名	勤務先	直接参加	代理	委任	電話	書面	
1. 委員長	伊藤 智	産業技術総合研究所	1					
2. 幹事	河合 和哉	産業技術総合研究所 パナソニック(株)	1					
3. 幹事	松本 隆明	(独)情報処理推進機構	1					
4. 委員	青野 雅樹	豊橋技術科学大学			1			委任：議長
5. 委員	浅井 光太郎	三菱電機(株)						
6. 委員	東 基衛	早稲田大学			1			委任：議長
7. 委員	荒井 勝喜	経済産業省						
8. 委員	石崎 俊	慶應義塾大学			1			委任：議長
9. 委員	石畑 清	明治大学		1				代理：高木 渉
10. 委員	伊藤 雅樹	(株)日立製作所	1					
11. 委員	稲垣 宏	一般社団法人 電子情報技術産業協会	1					
12. 委員	岩田 秀行	日本電信電話(株)			1			委任：議長
13. 委員	上原 まひる	ソニー(株)	1					
14. 委員	榎本 義彦	日本アイ・ビー・エム(株)	1					
15. 委員	大蒔 和仁	東洋大学						
16. 委員	小倉 博行	三菱電機(株)						
17. 委員	落合 真一	三菱電機(株)			1			委任：議長
18. 委員	織田 哲治	日本アイ・ビー・エム(株)	1					
19. 委員	金谷 学	一般社団法人 情報通信技術委員会	1					
20. 委員	楠 正憲	ヤフー(株)						
21. 委員	小濑 弘明	NPO エコデザイン推進機構	1					
22. 委員	小町 祐史	国土館大学			1			委任：議長
23. 委員	齋藤 輝							
24. 委員	酒井 康夫	(一社)日本自動認識システム協会			1			委任：議長
25. 委員	櫻井 義人	(株)日立製作所						
26. 委員	権野 孝雄	(株)キューブシステム			1			委任：議長
27. 委員	芝野 耕司	東京外国語大学						
28. 委員	鈴木 健司	東京国際大学			1			委任：議長
29. 委員	鈴木 俊宏	日本オラクル(株)						
30. 委員	関 喜一	産業技術総合研究所	1					
31. 委員	相馬 志伸	(社)ビジネス機械・情報システム産業協会			1			委任：議長
32. 委員	高村 誠之	日本電信電話(株)	1					
33. 委員	竜田 敏男	情報セキュリティ大学院大学	1					
34. 委員	立石 譲二	(独)情報処理推進機構			1			委任：議長
35. 委員	田中 秀一	(一社)電波産業会	1					
36. 委員	谷口 昭史	パイオニア(株)			1			委任：議長
37. 委員	谷津 行穂		1					
38. 委員	田部 尚志	日本電気(株)	1					
39. 委員	棟上 昭男							
40. 委員	成井 良久	日本マイクロソフト(株)			1			委任：議長
41. 委員	野口 聡	経済産業省						
42. 委員	橋本 道雄	経済産業省						
43. 委員	長谷川 亨	大阪大学						
44. 委員	東田 正信				1			委任：議長
45. 委員	平沢 尚毅	小樽商科大学						
46. 委員	平田 謙次							

47. 委員	平野 芳行	(独)情報処理推進機構	1					
48. 委員	平山 浩司	(株)東芝	1					
49. 委員	廣川 勝久		1					
50. 委員	福田 昭一	富士通(株)	1					
51. 委員	藤田 和重	総務省		1				代理：鈴木 一樹
52. 委員	本庄 利守	日本電信電話(株)	1					
53. 委員	宮崎 正治	(一財)日本規格協会						
54. 委員	宮島 義昭	住友電気工業(株)	1					
55. 委員	森 紘一		1					
56. 委員	山崎 哲	工学院大学						
57. 委員	山下 博之	(独)情報処理推進機構			1			委任：議長
58. 委員	山田 朝彦	産業技術総合研究所			1			委任：議長
59. 委員	吉田 武弘	キヤノン(株)			1			委任：議長
60. 委員	渡邊 創	産業技術総合研究所	1					
61. 委員	渡辺 裕	早稲田大学			1			委任：議長
合計	44/61		24	2	18	0	0	

説明者/その他(7名)：

	氏名	担当委員会	勤務先
1.	小出 啓介	—	経済産業省
2.	加藤 誠司	—	経済産業省
3.	坂本 静生	SC17/WG4	日本電気(株)
4.	榊 純一	SC17/WG10	パナソニック システムネットワークス(株)
5.	崎村 夏彦	SC27/WG5	(株)野村総合研究所
6.	篠木 裕二	事務局	情報規格調査会
7.	長澤 有由子	事務局	情報規格調査会

「議事録文責：議長 福田 昭一」